

3月28日 災害地視察報告

視察者：西座副理事長

同行者：事務局次長 對喜

視察行程：大槌町(役場職員面会) → 山田町(社協面会) → 宮古 JC との面会 →
盛岡 JC 災害支援者との協議

○大槌町において

現況

死亡者・・・521名

不明者・・・1019名

避難者数・・・4641名(最大避難箇所在住 約900名)

避難箇所・・・360名



大槌公民館からの光景

安渡地区対策本部長 佐藤 稲満さんに希望物資調査※

灯油・マット・作業服・紳士用衣服・簡易リュック・杖

※希望物資は、日ごと支給されており日々変化しています。



大槌地区の避難所で被災者の方たちから話を聞く西座副理事長

○山田町において

社協からの要望(社協 高橋事務局次長)

灯油・マット・ニーズ調査・夜間業務補助・自転車・空気入れ

○陸中宮古 JC 面会において

現況

死亡者・・・300名 不明者・・・1600名

避難者数・・・600名(旧宮古市地区) 避難箇所・・・70名

陸中宮古 JC 杉本理事長からの現況報告

災害ボランティアのほとんどが地元高校生で形成。

人的支援については、家屋清掃時の支援があれば望ましい。

「ボランティアの方たちが、被災者の許可のもと避難所宿泊をする事により高齢者などが喜ぶために行ってみてはどうか。」との提案を頂きました。



左から西座副理事長、陸中宮古 JC 澤田専務、杉本理事長、西川事務局長